

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	斉藤 博
評価者	組織	国際観光課	職	観光戦略推進部次長兼課長	氏名	清水 克弥

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と 海外誘客10倍増構想の推進	外国人宿泊客数	人	500,000 (H27)	162,161 (H24)	242,292 (H25)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の 有効性	今後の 方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	新ほっと石川観光プランの推進 (海外誘客10倍増構想の推進)	外国人宿泊客数	人	500,000 (H27)	162,161 (H24)	242,292 (H25)	1: 海外誘客企画費	外国人観光客	17,514	7,348	A	拡大
								2: 海外誘客情報発信事業費	観光客全般	52,940	56,540	A	拡大
								3: 海外誘客受地整備事業費	観光客全般	6,220	6,220	A	拡大

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客企画費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名	課長補佐 北口 義一
						者 電話番号	076 - 225 - 1128 内線 3961

1 事業の背景
 平成17年3月に策定した「新ほっと石川観光プラン」の海外誘客3倍増構想(平成26年までに15万人)は、平成19年に既に達成(161,902人)したことから、平成20年9月に海外誘客10倍増構想(新目標値50万人)に上方修正し、今後更なる誘客を目指す。

2 目的
 観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたりとともに、中長期的な視点に立った誘客プランの検討、県内事業者の気運醸成などを実施する。

3 事業内容

(1)	(新) 新幹線開業に向けた商品造成支援	2,000千円
(2)	(新) 石川県インバウンド研究会の開催	1,000千円
(3)	海外誘客アドバイザー等の委嘱 ((新) 香港、台湾、韓国、中国、欧州)	2,800千円
(4)	事務費等	2,023千円

4 交付先 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
	指標	石川県内外国人宿泊者数				単位	人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	500,000	131,035	169,113	106,933	162,161	242,292	
事業費							
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算				2,200	17,514	
	決算				2,200	7,348	
一般財源	予算				2,200	17,514	
	決算				2,200	7,348	
事業費累計			0	0	2,200	9,548	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	新幹線開業に向けた取り組みでは、沿線1都6県とJR西日本、東日本、欧米の旅行社とのパイプ役となる国内大手旅行社6社との連携の枠組みができ、H26年度は共同プロモーションも実施する運びとなり、大きく前進した。 インバウンド研究会の開催では、観光事業者等に対し、海外誘客の取り組みに関する啓発を図ったほか、海外誘客アドバイザーへの委嘱により、効果的な旅行動向の情報収集や本県の情報発信等を行うことができた。				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	海外からの誘客の拡大を図るためには、北陸新幹線を活用したさらなる誘客、さらには東京オリンピック開催決定による効果を本県に導くことが重要であり、今後とも引き続き、海外における情報収集や情報発信力を高め、中長期的な視点に立った取り組みを進めるとともに、県内観光事業者のインバウンドに対する取り組みに向けたさらなる気運醸成を図る必要がある。 平成26年度は、インバウンド研究会の開催は、海外誘客受地整備事業において実施し、更なる情報発信の強化を図るため、新たに観光親善大使フォローアップ事業を実施する。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客情報発信事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作	組	織	国際観光課		
成	職	氏名	課長補佐 北口 義一		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1128 内線 3961

1 目的
海外からの誘客で最も重要な認知度向上を図るため、海外における旅行イベントへの出展、メディアへの露出、現地旅行会社への商品造成支援や観光セミナーの開催など、各種観光プロモーション活動の実施に加えて、観光親善大使の拡充など、効果的な情報発信による誘客の促進を図る。

2 事業内容

(1) 小松・台北便のデイリー化対策と誘客需要の拡大

- ・エバー航空及び福井県との連携による商品造成支援
(小松～関空ルート、インセンティブツアー)
- ・(拡) スポーツ・レジャー商品の拡大
(小松便を利用したスキー・ゴルフ誘客の拡大)
- ・(新) 商工労働部との連携による観光物産展の開催 (冬期誘客対策)
- ・(新) 現地旅行番組招へいによる小松便の利用促進
- ・福井県との連携強化による教育旅行誘致

(2) 誘客環境が整いつつある欧米豪からの誘客

- ・(新) メディア、旅行会社を招へいし、欧州三大市場のドイツからの誘客を促進
- ・(新) ジャパン祭り2013に出展し、本県の知名度を向上
- ・国内大手旅行社と引き続き連携し、現地旅行社の商品造成を支援
(視察招へい、広告支援など)
- ・現地旅行社を生かしたルクセンブルク等からの誘客促進

(3) 誘客拡大が期待できる香港、タイ、シンガポールへのテコ入れ

- ・(拡) 香港からの団体・個人旅行誘致の促進
(本県単独での大手旅行社招へい事業、チャンネル強化)
- ・(新) タイからの個人旅行の誘客促進 (JR特典付き商品の横展開)
- ・(新) タイ日系企業等のインセンティブ旅行の誘致
(企業向け誘客セミナー等の開催)
- ・(新) シンガポールからの個人旅行の誘客促進 (JR特典付き商品の横展開)

(4) ターゲットを絞った韓国からの誘客

- ・大韓航空との連携、広域連携(岐阜県・福井県)による認知度向上
- ・スポーツ・レジャーの誘致強化

(5) 将来的に誘客拡大が期待できる中国からの誘客

※誘客に効果的なタイミングを図って実施

- ・南京・無錫や北京・広州等新市場からの誘客
- ・教育旅行関係者の招へい

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
	指標	石川県内外国人宿泊者数				単位	人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	500,000	131,035	169,113	106,933	162,161	242,292	
事業費							
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算				65,540	52,940	
	決算				65,540	56,540	
一般財源	予算				65,540	52,940	
	決算				65,540	56,540	
事業費累計			0	0	65,540	122,080	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	台湾便のデイリー化対策や、今後さらなる誘客の拡大が期待できる欧米豪や香港、東南アジアを重点にそれぞれの国・地域の特性に応じた効果的な取り組みを行ってきた。 その結果、台湾は前年度比55%増の101,463人、香港は前年比83%増の18,862人、シンガポールは前年度比84.2%増の5,067人、タイは前年度比81.4%増の5,056人となり、いずれも過去最多の宿泊者数を記録した。				
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	人口減少時代を迎え、国内観光のパイが限られている中、交流人口の拡大を図るには、年々拡大する海外からの観光客の誘客に目を向けていくことが重要であり、今後とも引き続き、国や隣県、県内市町及び民間事業者との連携を深めつつ、東アジアをはじめ、東南アジアや欧米等、重点市場からの誘客に積極的に努める必要がある。 今後は特に国内大手旅行社との連携が強化され、誘客環境が整いつつある欧米豪や、訪日ビザが免除され今後の誘客拡大が大いに期待できる東南アジアからの誘客に積極的に取り組む。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客受地整備事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作成者	組織	国際観光課	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			職・氏名	課長補佐 北口 義一		
						電話番号	076 - 225 - 1128 内線 3961		

1 目的
外国人観光客が、安心して一人でも本県を訪れてもらえるよう、観光案内ガイドの人材育成を図るとともに、多言語による情報発信ツール（ホームページ、パンフレット、地図等）を整備するなど、外国人観光客の受け入れ体制の整備を図る。

2 事業内容
(1) 外国人向け観光案内人材研修
(2) 外国語パンフレット等の作成
(新) タイ語ホームページ及びドイツ語パンフレットの作成

3 事業費 6,220千円

4 交付先 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	石川県内外国人宿泊者数					単位	人
目標値	現状値						
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	500,000	131,035	169,113	106,933	162,161	242,292	
事業費							
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算				2,000	6,220	
	決算				2,000	6,220	
一般財源	予算				2,000	6,220	
	決算				2,000	6,220	
事業費累計			0	0	2,000	8,220	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	通訳案内士・通訳ボランティアを対象とした研修会及びモニターツアーの開催により、案内人材のスキル向上に資することができた。とりわけ、研修を受講してきた通訳案内士の中には、旅行会社からの依頼でガイドを請け負うものも複数見られるようになった。 また、パンフレット・ホームページを作成し、より効果的な情報発信により、外国人観光客の受入体制の整備を図った。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	年々増加する外国人観光客に快適に県内での観光を楽しんでもらえるよう、多様化する外国人のニーズを把握し、引き続き様々な課題に対応すべく、外国人観光客の受入体制の整備を図る必要がある。 特に北陸新幹線金沢開業により、個人旅行者の増加が見込まれることから、県内事業者に対する意識啓発や、快適な観光のための情報発信等、受入体制の充実に取り組む。					